

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度(令和2年度)		科目名	システムリサーチ	
科目基礎情報							
開設学科	ITスペシャリスト科		コース名	システム専攻		開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		開講時間			授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する						
担当教員情報							
担当教員	中西真也・兒玉奉恵			実務経験の有無・職種	有・講師		
学習目的							
基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。 本講座では基本情報技術者試験の午前試験(150分)と午後試験(150分)が合格できるように対策を行っていく。							
到達目標							
この科目では、学生がICTシステムに関する動向をリサーチし、ビジネス社会に与える影響を鑑みて、未来への提言力を養成する。未来のICT・メディア市場、デバイス市場、ネットワーク市場、コンテンツ配信市場、プラットフォーム市場、xTech市場などの各ICTに関わる市場においてどのようなサービスが生み出されているのか理解できることを目標にしている。昨今、ビジネスの世界では「デジタル変革」という言葉を見ない日はない。いよいよ、あらゆる活動がネットに接続している前提、そして、ソフトウェアで書かれている前提になっていることの証左である。							
教育方法等							
授業概要	私達の身の回りにあるICT関連のシステムについて調査・研究し、発表することによって相互理解を深める。それらをもとに、将来期待されるICTシステムについて提言を加える。調査・研究の際は、全般的なトレンド情報収集の考え方を整理の仕方、代表的な参考情報源(Webサイト・文献)を紹介する。						
注意点	この授業では、普段の授業態度や提出課題を重視する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。自分でも、情報を収集し、最新のICTシステムに関する動向について調べる。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	70%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回) 1回(2)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容		各回の到達目標				
1回	2023年ICT・メディア市場(1)		2023年ICT・メディア市場を理解できる /宇宙ビジネス/シェアリングエコノミー				
2回	2023年ICT・メディア市場(2)		2023年ICT・メディア市場を理解できる /APIエコノミー/パーソナルデータ				
3回	デバイス市場(1)		デバイス市場を理解できる /携帯電話端末/4Kテレビ				
4回	デバイス市場(2)		デバイス市場を理解できる /VR/音声エージェント端末				
5回	デバイス市場(3)		デバイス市場を理解できる /ドローン/3Dプリンター				
6回	ネットワーク市場		ネットワーク市場を理解できる /固定ブロードバンド回線/モバイル・ワイヤレスブロードバンド				
7回	コンテンツ配信市場(1)		コンテンツ市場を理解できる /ゲーム/動画配信				
8回	コンテンツ配信市場(2)		コンテンツ市場を理解できる /音楽配信/放送・メディア				
9回	プラットフォーム市場(1)		プラットフォーム市場を理解できる /クラウドサービス/情報セキュリティ				
10回	プラットフォーム市場(2)		プラットフォーム市場を理解できる /クラウドサービス/IoT				
11回	プラットフォーム市場(3)		プラットフォーム市場を理解できる /ブロックチェーン/RPA				
12回	xTech市場(1)		xTech市場を理解できる /金融/小売				
13回	xTech市場(2)		xTech市場を理解できる /広告/食品				
14回	xTech市場(3)		xTech市場を理解できる /教育/スポーツ				
15回	xTech市場(4)		xTech市場を理解できる /人事/農業/ヘルスケア				